

# 仲間の声

■勤務地の隣の屯倉（みやけ）神社のうぐいすが、今年も上手に鳴いています。昨年は気づかなかったのですが、メジロも大量にいてガラス戸にとまっているのを手でつかめるくらいいます。現実には隣の土地改良区の事務所では7羽捕まえたそうです。すべに逃がしましたが。

近藤 美代子（松原市職労）

■景気の回復は、いつになったら我々に届くのでしょうか、不安です。

高津 秀夫（大阪府職労）

■給料がドンドン下がり、買いたい物もがまんしています。飲みに行く回数も減りました。

辻 政晃（吹田市職労）

■非正規職員が増やされつづけています。住民へのサービス低下など多くの矛盾点が露呈してきています。一致団結してガンバリましょう。

今泉 政信（枚方市職労）

■岸和田では、3月初旬にツバメがやってきました。鳥の子育ての季節のはじまりです。

風間 美穂（岸和田市職労）

■円安、株価上昇とマスコミはしきりに「アベノミクス」効果を宣伝しています。しかし、私たち庶民には無縁のこと。それよりも、賃上げと雇用の拡大をしてほしい。

久米 盛次（東大阪市職労）

## 青年部が独自に企画 ボウリング大会 & 新採歓迎交流会 （守口市職労青年部）

守口市職労青年部は、4月26日に新入職員歓迎企画「ボウリング大会 & 交流会」を開催。新入職員12人を含む25人が参加しました。

第1部のボウリング大会は、軽く投球練習をしたあと、中野・青年部書記長による始球式を行い、結果は9ピン！（いつも何かが足りていない青年部らしいかも…）そして、2ゲームトータルスコアで競うレーン対抗の大会がスタート！

各レーン、新入職員と先輩職員の組み合わせとあって、自己紹介や仕事の話をして、職種・職場の違いを越えて交流をしました。



青年部で企画をリレー「来年も！」

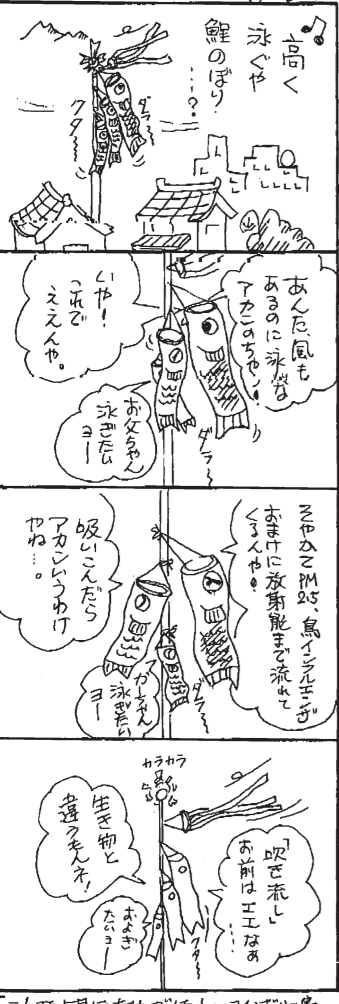
場所を変えて行われた第2部の交流会は、ボウリング大会のレーンごとに座り、いっそう親睦を深めました。また、その場で結果発表が行われ、チーム順位や新人賞が発表され、賞品が授与されるたびに大きな拍手がおきました。

この歓迎企画は毎年、賞品の買い出しから当日の運営まですべて青年部の役員が行い、次年度の役員へと引き継がれています。すでに今年の総括会議も開き「来年はもっと良い歓迎会をしよう」と話し合っています。

# 仲間の情報

## クロスワードパズル

晴れた日には... by ちか



タテのカギ

- 1 次第に貧乏・欠乏状態になること
- 2 悪魔を避けるための物。○○○の札
- 3 色即是○○
- 4 桃○○○年柿八年
- 5 しるがね。降り積もった雪のたとえ。○○○○は招くよ
- 6 ○○○が万事
- 7 いちかばちが大胆に事を行う人
- 8 心臓右側上部の腔。左心房の対
- 9 精も○○も尻き果てた
- 10 体の組織等が局部的に死ぬこと
- 11 猛攻を如何にかわすか○○○○を練る
- 12 宵祭りに同じ
- 13 両からとったまだ練らない綿糸
- 14 避難所に建てた○○○住宅
- 15 ○○○同文
- 16 ○○○を頼って上京した

（解き方）二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。

出題者：山本汎昭さん

1	2	3	4	5	6	7
8		9		10		
11		12	13		14	
		15		16		18
19		20		21		
22		23	24	25		
26				27		

ヒント：3年に1回

ヨコのカギ

- 1 洋画はこれがないと理解できない
- 2 自宅配達略
- 3 それを○○○○が鉄砲で撃って
- 4 地球上で海7割、コリ3割
- 5 一歩も○○を取らない
- 6 ○○○もないにうろつくな
- 7 議長、○○進行！
- 8 高校球児憧れの聖地
- 9 定型詩の対
- 10 日本の秋の代表的な花
- 11 恐しく懐かしく思ふこと
- 12 〇〇の念を抱く
- 13 ○○○のように固い口を開けず
- 14 魚河岸から○○○○の叫び声が響く
- 15 空蟬。何と読む？
- 16 豚肉のカツレツ
- 17 夜あかし。○○○○で見張る

3月号の解答  
「シュウトウショウリ」

カ	モ	ク	ク	タイ	ハイ
ジ	ヨ	ウ	ホ	マ	ロ
ユ	ウ	ウ	ウ	カ	シ
ウ	フ	ン	ヒ	ガ	イ
シ	ン	シ	ユ	ツ	タイ
ヤ	ト	ウ	ウ	ウ	イ
ク	ウ	ウ	ウ	チ	リン
				シ	カ
				ヤ	ク

3月号の正解と当選者  
ドクイヌの正解はシュウトウショウリでした。各職場から22通の回答をいただきました。抽選で次の5人のみなさんに図書カードを贈呈します。（敬称略）

▼正田かおる（枚方市職労）▼寺尾桃子（貝塚市職労）▼高津秀夫（大阪府職労）▼堀美子（大阪府職労）▼北田一世（交野市職労）

## 賢い保険の選び方 - 保険のプロからのアドバイス① -

日本人は保険好き！  
でも、よ〜く考えて〜♡

- 1 生命保険加入率………80%  
（生命保険文化センター調査）
- 2 内容を理解している人………16%  
多くは①勧められるまま加入  
②何となく不安だから加入  
③みんな入っているから
- 3 なぜわからない保険に多額のお金をかけて入ってしまうのでしょうか？  
（平均）年間25.4万円(男性) 18.5万円(女性)

## 働く仲間のたすけあい 共済コーナー

それは〜  
民間保険会社の「トークと宣伝力！」

不安を煽るトークと莫大な宣伝費

例えば…

- 「年金！あてになりませんよ！」
- 「介護保険は利用費もかかりますよ！」
- 「がんになったら医療費が平均100万円かかりますよ」など…

⚠不安にさせられるうえに、正しくないですね

⚠それに、莫大な宣伝費はあなたが支払う保険料です

⚠ほとんど可能性のない「保険」に高い保険料を払い続けていませんか？

あなたの保険料と保障をご一緒に、見直しましょう  
—ご相談は書局へ—

ここで労働組合の共済の出番です

組合員の「助け合い事業」ですから、もうけを必要としません。加入者の皆さんから預かった掛金は、全体の7割を給付と個人還元金にあてています。制度が悪いわけがありません。保障は「セット共済でカバー」は、保険のプロもお薦めです。